

コロナ禍2学期のスタート

～だからこそ「時を守り、場を清め、礼を正す」～

武庫北小学校 桑野光枝

令和2年度の2学期がはじまりました。臨時休校や分散登校、校時時刻や給食期間の変更、夏休みの短縮、行事の中止や変更、延期など、今年度は、イレギュラーから始まり、イレギュラーの状況で進んでいます。そのような中、子どもたちを含め、保護者の皆様のご理解ご協力、地域の皆様の臨機応変なる対応やお力添えの数々に頭の下がる1学期でした。更には、子どもたちの日々の登下校やコロナ対応の他にも、台風や地震などの非常変災時に備えて、早め早めに、地域の各社会福祉

連絡協議会の皆様、地域連携コーディネーター様、学校開放運営委員会の皆様、各関係機関のお力添えのもと、協議・準備を重ねていただくと、様々にご支援くださっていること誠にありがとうございます。

さあ、2学期がスタートしました。これまで、あたり前のように通い、過ごしていた学校。しかし、そのあたり前の日常があたり前でなくなったとき、「ありがとう」の意味の大きさに気づかれます。これまでに引き続き、コロナ禍、炎天下にもかかわらず、ご自身のことを後回しにして、子ども達の安全のため、今も毎日、ポイントに立って子ども達の登下校の安全を見守り続けて下さっている地域の方々には、筆舌に尽くしがたい感謝の思いでいっぱいになります。そんなとき必ず口にする言葉が「ありがとう」です。「ありがとう」という言葉は、漢字で「有難う」と書きます。「有ることが難しい」のです。難しいことが人の力を借りて、叶っている。だからこそ「ありがとう」という感謝の気持ちになるのだと思います。このコロナ禍において、今日も「ありがとう」で溢れている武庫北小学校です。

2学期も、「今できていること」や「今有ること」に気づき、感謝して過ごすことができる子どもたちを育みたいと思います。感謝の気持ちは、人を素直にし、行動の原動力になり得るものです。未だ終息を見ないコロナウイルスは我々には脅威です。しかし、この状況を正しく怖がって生活を整え、この逆境（ピンチ）を、心の豊かさやよりよい行動変容のきっかけにつなげられたらと、願っています。

「時を守り、場を清め、礼を正す」（晩年を尼崎市で終えられた教育学者 森信三氏の言葉です）
 これまでからも、子ども達に伝えてきていることですが、コロナ禍だからこそ、更に心がけ、意を注いで参ります。命を守り、人に迷惑をかけない、人を大切にする生き方の基本として、この言葉を学校全体でさらに意識的に共有して参ります。

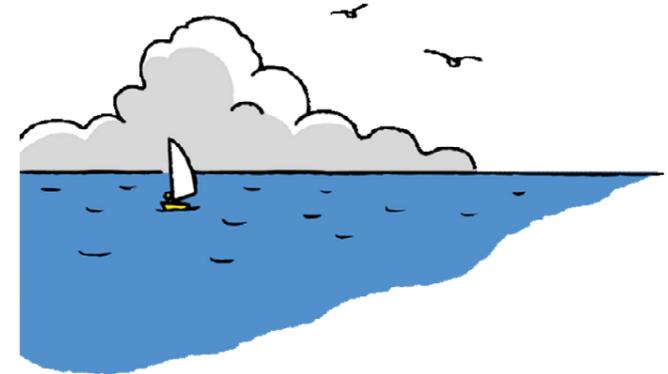
2学期も変わりませず、子どもたちへの支援と、コロナ禍へのご対応、ご理解とご協力をお願いします。

8月の行事予定

月	火	水	木	金	土	日
	8/18	19	20	21	22	23
	始業式・大掃除 12:00下校	12:15下校	12:15下校	12:15下校	お休み	お休み
24	25	26	27	28	29	30
12:15下校	給食開始	眼科検診(全学年) 13:30~	視力検査(6年生)	視力検査(5年生)	お休み	お休み
31						
内科検診 (1, 2年生)						



9月 7日(月)～11日(金) 個人懇談会。
 子どもたちは、給食終了後下校となります。



お知らせ

○8月分の諸費は7月に支払っているため8月の引き落としはありません。

○おうちでの検温を必ずすませてから登校して下さい。

